

履修上の注意・授業科目配当表・卒業要件

1. <情報社会学科> 履修上の注意

平成 28 年度 (2016) 入学者用

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないよう留意すること。

1. 本学科を卒業するためには、学部規程別表 I 「授業科目表」に記載されている科目のうちから、4 年次終了までに、教養科目 44 単位以上、専門科目 80 単位以上、合計 124 単位以上を修得しなければならない。このうち平成 28 年度以降入学生については必修 32 単位、選択必修 6 単位の修得が必要である。
2. 履修は別表「授業科目配当表」に記された配当年次に行うのが標準であるが、これにとらわれずに自分の所属より下の年次に配当された科目を履修することもできる。早期卒業を希望する場合の情報社会総合演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 1 年間に履修登録できる単位の上限は 48 単位である。本学科では 2 年次から 3 年次、3 年次から 4 年次に進級するために必要な単位数を定めている。2 年次終了までに 28 単位、3 年次終了までに 76 単位を修得していなければ進級できない。進級要件を満たし、4 年間で卒業するためには、各年次に 36 単位程度を修得し、4 年次では情報社会総合演習の他、数科目を履修すればよくなるよう計画的に履修することが重要である。
4. 1～2 年次に配当されている教養科目は、主として、情報、人文科学、社会科学、自然科学、外国語の 5 つの学問分野から構成されている。また、これとは別に大学卒業後の進路に対する支援を行う目的でキャリア・デザイン科目が設置されている。1～2 年次には、学生はなるべく広い分野にわたる科目を履修することによって視野を広げていくことが望ましい。
5. 専攻別の選択必修科目に関する注意
経営システム専攻の学生は、教養科目のコンピュータ概論 I、コンピュータ概論 II、法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論の 6 科目のうち、3 科目 (6 単位) 以上を履修しなければならない。
メディア文化専攻の学生は、教養科目の英語圏文化論、ドイツの言語と文化、フランスの言語と文化、中国の言語と文化の 4 科目 (A 群とする) から 1 科目、音楽音響学概論、芸術論、メディア論の 3 科目 (B 群とする) から 1 科目、A 群または B 群から別の 1 科目、合わせて 3 科目 (6 単位) 以上を履修しなければならない。
6. 専門科目には情報社会専門科目と心理専門科目がある。情報社会学科の学生は情報社会専門科目を中心に学ぶことになるが、心理専門科目も 20 単位までは卒業に必要な単位として認定される。心理専門科目の配当年次については心理学の「授業科目配当表」を参照すること。

7. 3・4年次の演習に関する注意

3年次の情報社会一般演習は週1コマ、4年次の情報社会総合演習は週2コマ行われる。4年次には、指導教員と相談しながらテーマを定め、卒業研究を行う。原則として学生は2年間を通して同一の指導教員の演習に所属することになるので、3年次の演習の選択は慎重に行わなければならない。

8. 検定試験による単位認定については、本便覧中の「人間社会学部検定試験単位認定取扱規程」を参照すること。

2. ≪情報社会学科≫ 平成28年度(2016)入学者用授業科目配当表 経営システム専攻

区 分	1 学 年				2 学 年					
	前 期		後 期		前 期		後 期			
	授業科目	単 位	授業科目	単 位	授業科目	単 位	授業科目	単 位		
教 養 科 目	◎ 英語Ⅰ	1	◎ 英語Ⅰ	1	◎ 英語Ⅱ	1	◎ 英語Ⅱ	1		
	○ コンピュータ概論Ⅰ	2	○ コンピュータ概論Ⅱ	2	○ 会計学概論	2	○ 中国の言語と文化	2		
	○ 法学概論	2	○ 経済学概論	2	○ ドイツの言語と文化	2	○ 英語圏文化論	2		
	音楽音響学概論	2	○ 経営学概論	2	○ フランスの言語と文化	2	○ メディア論	2		
	仏教精神Ⅰ	2	○ 仏教精神Ⅱ	2	○ 芸術論	2	○ 簿記演習	2		
	世界の宗教と歴史	2	○ 哲学概論	2	○ TOEICⅠ	1	○ TOEICⅡ	1		
	文化人類学	2	○ 自己理解の心理学	2	○ ジェンダー論	2	○ スポーツ文化論	2		
	身近な物理	2	○ 心理学入門	2	○ 脳と行動	2	○ 20世紀の日本史	2		
	宇宙の科学	2	○ 20世紀の世界史	2	○ 科学技術史	2	○ 浄土教の歴史と文化	2		
	福祉ビジネス論	2	○ グローバル社会と地誌	2	○ 日本国憲法	2	○ 社会学概論	2		
	ボランティアの研究	2	○ 化学と生活	2	○ 仏教の歴史と思想	2	○ 数理基礎	2		
	体育実技Ⅰ	1	○ 教育と社会	2	○ 日本史概論	2				
	地域学	2	○ ボランティアの研究	2	○ 東洋史概論	2				
	※ 日本語Ⅰ	2	○ 政治学概論	2	○ 西洋史概論	2				
	※ 日本語Ⅱ	2	○ 生命の仕組み	2						
	※ 日本事情Ⅰ	2	○ 体育実技Ⅱ	1						
			* コミュニケーション演習	1						
			※ 日本語Ⅲ	2						
			※ 日本語Ⅳ	2						
			※ 日本事情Ⅱ	2						
		計	30	計	37	計	26	計	20	
デ ィ ジ タ ル 科 学 目	◎ 情報リテラシーⅠ	2	◎ 情報リテラシーⅡ	2	○ インターンシップ	2	○ インターンシップ	2		
	○ ネットワーク・リテラシー	2	○ マルチメディア・リテラシー	2	○ 人生と職業	2	○ 総合情報演習	2		
		計	4	計	4	計	6	計	2	
		計	34	計	41	計	32	計	22	
情 報 社 会 専 門 科 目	◎ 基礎演習Ⅰ	2	◎ 基礎演習Ⅱ	2	◎ プロジェクト演習Ⅰ	2	◎ プロジェクト演習Ⅱ	2		
	◎ 情報学概論	2	○ 情報の分析と活用	2	○ 企業と業界の分析Ⅰ	2	○ 企業と業界の分析Ⅱ	2		
	○ プログラミング入門	2	○ プログラミングⅠ	2	○ 民法A	2	○ 民法B	2		
	○ デジタルデザイン基礎演習	2	○ 情報と職業	2	○ 現代経済論	2	○ 行政学	2		
	○ 音楽とメディア	2	○ 平面構成演習	2	○ データ解析論	2	○ 行政学	2		
	○ 音楽情報演習Ⅰ	2	○ ネットワーク社会論	2	○ プログラミングⅡ	2	○ 国際法	2		
	○ Webデザイン基礎演習	2	○ テクノロジーと音楽	2	○ 情報ネットワーク論	2	○ 情報関連法	2		
			○ 音楽情報演習Ⅱ	2	○ 経営情報論	2	○ 情報セキュリティ	2		
			○ コンピュータ画像処理	2	○ 経営情報システム	2	○ テキスト情報処理	2		
					○ 情報システム論	2	○ 日本史特講	2		
					○ 現代社会と宗教	2	○ 東洋史特講	2		
					○ アート批評論Ⅰ	2	○ 西洋史特講	2		
					○ デジタルデザイン応用演習	2	○ 現代社会と倫理	2		
					○ デジタル映像表現	2	○ アート批評論Ⅱ	2		
					○ Webデザイン応用演習	2	○ アート・コミュニケーション論	2		
					○ デジタルサウンド演習Ⅰ	2	○ 映像文化論	2		
					○ 音楽文化論	2	○ 空間構成演習Ⅰ	2		
					○ 音響環境論Ⅰ	2	○ 空間構成演習Ⅱ	2		
					○ 映像と音楽	2	○ 3DCG演習	2		
					○ 映像・音楽の総合表現と人間	2	○ 音響環境論Ⅱ	2		
					○ 情報社会特講Ⅰ	2	○ デジタルサウンド演習Ⅱ	2		
							○ 情報社会特講Ⅱ	2		
			計	14	計	18	計	42	計	44

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。
 ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語Ⅰに代えて
 *印の科目を履修することができる。

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。
 教養科目の法学概論、経済学概論、経営学概論、会計学概論、
 コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱの6科目のうち、3科目(6単位)が選択必修である。

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語3	1	◎ 英語演習3	1				
	フラクティカル・イングリッシュⅠ	1	フラクティカル・イングリッシュⅡ	1				
	ビジネス英語入門	1	英語記事・論文読解	1				
	計	3	計	3	計	0	計	0
キャリアデザイン科目	現代社会理解	2	働くことの科学と実践Ⅱ	2				
	キャリアと自立	2	総合教養演習	2				
	働くことの科学と実践Ⅰ	2						
	計	6	計	4	計	0	計	0
情報社会専門科目	◎ 情報社会一般演習Ⅰ	2	◎ 情報社会一般演習Ⅱ	2	◎ 情報社会総合演習Ⅰ	4	◎ 情報社会総合演習Ⅱ	4
	経営管理論	2	現代経済史	2				
	知的財産権法	2	法学応用演習	2				
	財務管理論	2	知識管理論	2				
	人文地理学	2	マーケティング論	2				
	マルチメディア論	2	e-ビジネス論	2				
	映像環境論	2	ネットワーク管理	2				
	映像制作演習	2	国際関係論	2				
	デザイン演習	2	自然地理学	2				
	サウンド・プログラミング演習	2	哲学の源流	2				
	ビジネス関連法	2	地誌学	2				
	システム管理	2	情報メディア演習	2				
	企業組織における人間行動	2	データベース論	2				
	情報社会特講Ⅲ	2	情報社会特講Ⅳ	2				
	情報社会特講Ⅴ	2	情報社会特講Ⅵ	2				
	計	30	計	30	計	4	計	4

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	情報社会総合演習Ⅱ(再)	4

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記5) 必選欄の※印は、随覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

(注記6) 心理専門科目については、心理学科の配当表を参照せよ。

2. 《情報社会学科》 平成28年度(2016)入学者用授業科目配当表 メディア文化専攻

区分	1 学年				2 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 英語1	1	◎ 英語演習1	1	◎ 英語2	1	◎ 英語演習2	1
	コンピュータ概論 I	2	コンピュータ概論 II	2	会計学概論	2	◎ 中国の言語と文化	2
	法学概論	2	◎ 経済学概論	2	◎ ドイツの言語と文化	2	◎ 英語圏文化論	2
	◎ 音楽音響学概論	2	◎ 経営学概論	2	◎ フランスの言語と文化	2	◎ メディア論	2
	仏教精神 I	2	◎ 仏教精神 II	2	◎ 芸術論	2	◎ 簿記演習	2
	世界の宗教と歴史	2	哲学概論	2	TOEIC I	1	TOEIC II	1
	文化人類学	2	自己理解の心理学	2	ジェンダー論	2	スポーツ文化論	2
	身近な物理	2	心理学入門	2	脳と行動	2	20世紀の日本史	2
	宇宙の科学	2	20世紀の世界史	2	科学技術史	2	浄土教の歴史と文化	2
	政治学概論	2	グローバル社会と地誌	2	日本国憲法	2	社会学概論	2
	ポランティアの研究	2	化学と生活	2	仏教の歴史と思想	2	数理基礎	2
	体育実技 I	1	教育と社会	2	日本史概論	2		
	地域学	2	ポランティアの研究	2	東洋史概論	2		
	※ 日本語 I	2	政治学概論	2	西洋史概論	2		
	※ 日本語 II	2	生命の仕組み	2				
※ 日本事情 I	2	体育実技 II	1					
		* コミュニケーション演習	1					
		※ 日本語 III	2					
		※ 日本語 IV	2					
		※ 日本事情 II	2					
	計	30	計	37	計	26	計	20
ゼミナール科目	◎ 情報リテラシー I	2	◎ 情報リテラシー II	2	インターンシップ	2	インターンシップ	2
	ネットワーク・リテラシー	2	マルチメディア・リテラシー	2	人生と職業	2		
					総合情報演習	2		
	計	4	計	4	計	6	計	2
	計	34	計	41	計	32	計	22
専門科目	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ プロジェクト演習 I	2	◎ プロジェクト演習 II	2
	◎ 情報学概論	2	情報の分析と活用	2	企業と業界の分析 I	2	企業と業界の分析 II	2
	プログラミング入門	2	プログラミング I	2	民法A	2	民法B	2
	デジタルデザイン基礎演習	2	情報と職業	2	現代経済論	2	行政法	2
	音楽とメディア	2	平面構成演習	2	データ解析法	2	行政学	2
	音楽情報演習 I	2	ネットワーク社会論	2	プログラミング II	2	国際法	2
	Webデザイン基礎演習	2	テクノロジーと音楽	2	情報ネットワーク論	2	情報関連法	2
			音楽情報演習 II	2	経営情報システム	2	情報セキュリティ	2
			コンピュータ画像処理	2	情報システム論	2	テキスト情報処理	2
					情報システム論	2	日本史特講	2
					現代社会と宗教	2	東洋史特講	2
					アート批評論 I	2	西洋史特講	2
					デジタルデザイン応用演習	2	現代社会と倫理	2
					デジタル映像表現	2	アート批評論 II	2
					Webデザイン応用演習	2	アート・コミュニケーション論	2
					デジタルサウンド演習 I	2	映像文化論	2
					音楽文化論	2	空間構成演習 I	2
					音響環境論 I	2	空間構成演習 II	2
					映像と音楽	2	3DCG演習	2
					映像・音楽の総合表現と人間	2	音響環境論 II	2
					情報社会特講 I	2	デジタルサウンド演習 II	2
							情報社会特講 II	2
	計	14	計	18	計	42	計	44

(注記1) 必選欄の◎印は、必修科目を示す。
ただし、聴覚に障害をもつ学生は、英語演習1に代えて
*印の科目を履修することができる。

(注記2) 必選欄の○印は、選択必修科目を示す。
教養科目の英語圏文化論、ドイツの言語と文化、フランスの言語と文化、
中国の言語と文化の4科目(A群とする)から1科目、音楽音響学概論、
芸術論、メディア論の3科目(B群とする)から1科目、A群またはB群から
別の1科目、合わせて3科目(6単位)が選択必修である。

区分	3 学年				4 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目 キャリアデザイン科	◎ 英語3 ブラクティカル・イングリッシュⅠ ビジネス英語入門	1 1 1	◎ 英語演習3 ブラクティカル・イングリッシュⅡ 英語記事・論文読解	1 1 1				
	計	3	計	3	計	0	計	0
	現代社会理解 キャリアと自立 働くことの科学と実践Ⅰ	2 2 2	働くことの科学と実践Ⅱ 総合教養演習	2 2				
	計	6	計	4	計	0	計	0
専門科目 情報社会専門科目	◎ 情報社会一般演習Ⅰ 経営管理論 知的財産権法 財務管理論 人文地理学 マルチメディア論 映像環境論 映像制作演習 デザイン演習 サウンド・プログラミング演習 ビジネス関連法 システム管理 企業組織における人間行動 情報社会特講Ⅲ 情報社会特講Ⅴ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会一般演習Ⅱ 現代経済史 法学応用演習 知識管理論 マーケティング論 e-ビジネス論 ネットワーク管理 国際関係論 自然地理学 哲学の源流 地誌学 情報メディア演習 データベース論 情報社会特講Ⅳ 情報社会特講Ⅵ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	◎ 情報社会総合演習Ⅰ	4	◎ 情報社会総合演習Ⅱ	4
	計	30	計	30	計	4	計	4

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	情報社会総合演習Ⅱ(再)	4

(注記3) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記4) 必選欄の空白は、選択科目を示す。

(注記5) 必選欄の※印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

(注記6) 心理専門科目については、心理学科の配当表を参照せよ。

3. <<情報社会学科>> 卒業要件一覧表

【平成28年度(2016)】入学者適用

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	6単位	28単位	44単位
専門科目	22単位	—	58単位	80単位
合計	32単位	6単位	86単位	124単位

1. 《心理学科》 履修上の注意

平成 28 年度以降入学者向け

以下に科目履修にあたっての注意点を挙げる。学生は履修細則と合わせて熟読し、卒業に際し、問題の起こらないように留意すること。

なお、28 年度の入学者から心理学科では専攻制を採用している。27 年度以前の入学者に対する講義科目名、履修年次などが異なっているので注意すること。

1. 卒業要件を満たすには、授業科目配当表に記載されている科目のうちから、4 年次終了までに、教養科目 44 単位以上、専門科目 80 単位以上、合計 124 単位以上を履修しなければならない。
2. 履修は授業科目配当表に記された配当年次に行うのが標準であるが、選択科目においては自分の現年次より下の年次に配当された科目を履修することができる。早期卒業を希望する場合の総合研究演習を除いて、所属より上の年次に配当されている科目を履修することはできない。
3. 学科の学生が第 3 学年に進級するためには、教養科目、専門科目に関して、合計 28 単位以上を修得していなければならない。また、第 4 学年に進級するためには、教養科目、専門科目に関して、合計 76 単位を修得していなければならない。4 年間で卒業するためには各年次に 36 単位程度を修得するのが望ましく、4 年次では総合研究演習の他、数科目を履修すればよくなるよう、計画的に履修すること。なお、1 年間に履修できる単位の上限は 48 単位である。従って、3 年次終了までに 76 単位を修得していなければ、4 年間で卒業できないことがその時点で決定することになる。
4. 心理学専門科目は、その専門性により、年次配当がなされているので計画的に履修すること。選択科目を選ぶにあたって、はじめから興味のある領域の科目にしぼってしまうのは、心理学を学ぶうえで好ましいことではない。特に認定心理士の資格申請を考えているものは、認定要件が基礎から臨床までの広い範囲の単位取得を要することからバランスよく科目を履修するよう留意すること。
5. 演習、実験演習などの科目について

a) 基礎演習 I・II (1 年次)

複数の心理学担当教員が手分けして指導する。学生は基礎演習のみに使用される少人数クラスに分けられ、指定された教室に毎週行くことになるが、内容により異なる教員の指導を受ける。この授業は心理学入門と位置づけられるセミナーである。1 年間の授業の進め方については、最初の授業で詳しく説明されるので必ず出席すること。

b) 基礎実験演習 I・II (2 年次)

実験、心理テストなどの技法を実際に学ぶための授業で、学生は基礎実験演習のみ使用される少人数クラス(班と呼ぶ)に分けられる。前期、後期ともにいくつかの授業内容(種目と呼ぶ)が用意されているが、各種目で使用する部屋が固定されているので、種目が変わるたびに違う部屋に行くことになる。直前の変更も多いので、掲示、アナウンスに注意を払うこと。すべての種目についてレポートを提出する必要があるが、心理学科の一番主要な科目であるにもかかわらず、単位を取得できない学生が一番多い必修科目でもある。この単位を 3 年次に再履修で取るのは、3 年次の一般実験演習の負担と重なり、現実には難しい。この科目は、臨床心理専攻、ビジネス心理専攻の二つに対して異なった種目が用意されているものもある。授業初回時に両専攻合同で種目の取り方などを説明するので必ず出席すること。

c) 一般実験演習 I・II (3 年次)

一般実験演習に向け、2 年次末に担当教員を決定する。どの教員が担当するかは学生の希望に基づいて調査をし、学科で調整の上決定する。履修にあたっては教員によって講義番号が異なっているので、最終的に決定した担当教員の番号を確認し、登録する

こと。後期の一般実験演習Ⅱで前期の一般実験演習Ⅰと異なる教員に指導を受けることは不可能ではないが、履修上きわめて困難である。

専攻毎に、どのような成果を要求するかを含め、教員ごとに授業の進め方を第1回目の授業で詳しく説明するので、必ず出席すること。

d) 総合研究演習Ⅰ、Ⅱ (4年次)

総合研究演習Ⅰ、Ⅱでは、担当教員の指導のもとに卒業研究または、卒業研究に相当する成果の報告を作成する。通常3年次の一般実験演習から教員の変更はないので、各自の指導教員の総合研究演習に履修登録をすること。

専攻毎に、この授業において要求される成果は異なるが、どのような成果を要求するかは、担当教員によって指示される。臨床心理専攻では、卒業研究報告書の作成が必須である。ビジネス心理専攻は必ずしも卒業研究報告書を要求しない場合もあるが、同等の成果は要求される。卒業研究の内容は、データ(事例を含む)に基づくものであることが望ましいが、文献を読み、自分の考えをまとめたものも可とする。複数の者が、共同で集めた同じデータに基づいて卒業研究を作成するのはかまわないが、考察は人により当然異なるはずなので、各自独立に1部を作成し提出すること。連名で1部のみ提出することはできない。

枚数については、1枚800字として50枚程度を目安とする。提出期限は概ね年末となるが、決定次第揭示される。

両専攻とも、大学院進学を希望する学生は、卒業論文のコピー提出を求められることを想定して、論文レベルのものになるよう努力すること。

6. 心理学研究法基礎および心理学研究法応用について

心理学研究法基礎は、心理学を学問として研究するための基礎的な方法論を学ぶものであり両専攻の学生の必修科目である。心理学研究法応用は、選択必修科目であるが心理学を研究するための研究方法の必須の知識を講義するものであり、両専攻の学生とも履修することを強く勧める。

7. 専攻別の専門選択必修科目について

専攻毎の専門選択必修科目が設置される。この専攻毎に設置される科目は、他専攻の学生が受講してはいけないということではなく、自らの専攻の選択必修設置科目を最低10科目とれば、他の専攻の専門選択必修科目を履修することが可能である。専攻の選択必修科目に力を入れすぎて、自専攻の専門選択必修科目の数が足りなくなるということのないように注意すること。

8. 情報社会学科の専門科目履修について

「情報社会専門科目」として心理学科の科目表に記載されるものについては情報社会学科の専門科目でも20単位を上限として履修することが可能である。

2. 《心理学科》 平成28年度(2016) 入学者用授業科目配当表
ビジネス心理専攻

区分	1 学年				2 学年				
	前期		後期		前期		後期		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教養科目	◎ 情報リテラシー I	2	◎ 情報リテラシー II	2	◎ 英語 2	1	◎ 英語演習 2	1	
	コンピュータ概論 I	2	コンピュータ概論 II	2	TOEIC I	1	TOEIC II	1	
	ネットワーク・リテラシー	2	マルチメディア・リテラシー	2	仏教の歴史と思想	2	スポーツ文化論	2	
	◎ 英語 1	1	◎ 英語演習 1	1	ジェンダー論	2	20世紀の日本史	2	
	世界の宗教と歴史	2	* コミュニケーション演習	1	脳と行動	2	社会学概論	2	
	文化人類学	2	心理学入門	2	科学技術史	2	数理基礎	2	
	身近な物理	2	哲学概論	2	日本国憲法	2	インターンシップ	2	
	宇宙の科学	2	経済学概論	2	人生と職業	2	中国の言語と文化	2	
	法学概論	2	経営学概論	2	インターンシップ	2	英語圏文化論	2	
	福祉ビジネス論	2	政治学概論	2	会計学概論	2	メディア論	2	
	ボランティアの研究	2	自己理解の心理学	2	ドイツの言語と文化	2	簿記演習	2	
	音楽音響学概論	2	20世紀の世界史	2	フランスの言語と文化	2	浄土教の歴史と文化	2	
	仏教精神 I	2	グローバル社会と地誌	2	芸術論	2			
	地域学	2	化学と生活	2	日本史概論	2			
	体育実技 I	1	生命の仕組み	2	東洋史概論	2			
	※ 日本語 I	2	教育と社会	2	西洋史概論	2			
	※ 日本語 II	2	ボランティアの研究	2	総合情報演習	2			
	※ 日本事情 I	2	仏教精神 II	2					
			体育実技 II	1					
			※ 日本語 III	2					
		※ 日本語 IV	2						
		※ 日本事情 II	2						
	計	34	計	41	計	32	計	22	
心理専門科目	◎ 心理学概論 I	2	◎ 心理学概論 II	2	◎ 基礎実験演習 I	2	◎ 基礎実験演習 II	2	
	◎ 基礎演習 I	2	◎ 基礎演習 II	2	◎ 心理学研究法基礎	2	○ 社会調査概論	2	
	◎ 心理統計学 I	2	◎ 心理統計学 II	2	◎ ビジネス心理学	2	言語心理学	2	
					○ 認知心理学	2	○ 情報処理心理学	2	
					発達心理学	2	生理心理学	2	
					教育心理学	2	精神保健学	2	
					臨床心理学	2	精神医学	2	
					深層心理学	2	○ 社会心理学	2	
					学習心理学	2	心理学と職業	2	
					知覚心理学	2			
					映像・音楽の総合表現と人間	2			
		計	6	計	6	計	22	計	18
		計	40	計	47	計	54	計	40

区分	3 学年					4 学年				
	前期		後期			前期		後期		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	単位	
教養科目	◎ 英語 3	1	◎ 英語演習 3	1						
	ブラクティカル・イングリッシュⅠ	1	ブラクティカル・イングリッシュⅡ	1						
	ビジネス英語入門	1	英語記事・論文読解	1						
	キャリアと自立	2	働くことの科学と実践Ⅱ	2						
	働くことの科学と実践Ⅰ	2	総合教養演習	2						
	現代社会理解	2								
	計	9	計	7	計	0	計	0	0	
専門科目	◎ 一般実験演習Ⅰ	2	◎ 一般実験演習Ⅱ	2	◎ 総合研究演習Ⅰ	4	◎ 総合研究演習Ⅱ	4	0	
	○ コミュニケーション技法演習Ⅰ	2	○ コミュニケーション技法演習Ⅱ	2						
	○ コミュニケーション技法	2	○ 対人関係論	2						
	臨床心理原典講読	2	○ 心理学研究法応用	2						
	○ ビジネス心理原典講読	2	○ 消費者理解の心理学	2						
	対人援助論	2	○ 交通心理学	2						
	○ 心理データ解析法	2	○ 産業心理学	2						
	社会臨床心理学	2	動機づけと情動	2						
	犯罪心理学	2	家族臨床心理学	2						
	神経心理学	2	学校臨床心理学	2						
	発達臨床心理学	2	非行臨床心理学	2						
	臨床心理査定・検査	2	臨床心理査定・面接	2						
	企業組織における人間行動	2	比較心理学	2						
			人格心理学	2						
		計	26	計	28	計	4	計	4	
		計	35	計	35	計	4	計	4	

(注記1) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

【ビジネス心理専攻】

(注記2) 必選欄の*印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

(追記3) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を参照せよ。

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	総合研究演習Ⅱ(再)	4

2. <<心理学科>> 平成28年度(2016)入学者用授業科目配当表
臨床心理専攻

区分	1 学年				2 学年			
	前期		後期		前期		後期	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
教養科目	◎ 情報リテラシーⅠ	2	◎ 情報リテラシーⅡ	2	◎ 英語 2	1	◎ 英語演習 2	1
	コンピュータ概論Ⅰ	2	コンピュータ概論Ⅱ	2	TOEICⅠ	1	TOEICⅡ	1
	ネットワーク・リテラシー	2	マルチメディア・リテラシー	2	仏教の歴史と思想	2	スポーツ文化論	2
	◎ 英語 1	1	◎ 英語演習 1	1	ジェンダー論	2	20世紀の日本史	2
	世界の宗教と歴史	2	* コミュニケーション演習	1	脳と行動	2	社会学概論	2
	文化人類学	2	心理学入門	2	科学技術史	2	数理基礎	2
	身近な物理	2	哲学概論	2	日本国憲法	2	インターンシップ	2
	宇宙の科学	2	経済学概論	2	人生と職業	2	中国の言語と文化	2
	法学概論	2	経営学概論	2	インターンシップ	2	英語圏文化論	2
	福祉ビジネス論	2	政治学概論	2	会計学概論	2	メディア論	2
	ボランティアの研究	2	自己理解の心理学	2	ドイツの言語と文化	2	簿記演習	2
	音楽音響学概論	2	20世紀の世界史	2	フランスの言語と文化	2	浄土教の歴史と文化	2
	仏教精神Ⅰ	2	グローバル社会と地誌	2	芸術論	2		
	地域学	2	化学と生活	2	日本史概論	2		
	体育実技Ⅰ	1	生命の仕組み	2	東洋史概論	2		
※ 日本語Ⅰ	2	教育と社会	2	西洋史概論	2			
※ 日本語Ⅱ	2	ボランティアの研究	2	総合情報演習	2			
※ 日本事情Ⅰ	2	仏教精神Ⅱ	2					
		体育実技Ⅱ	1					
		※ 日本語Ⅲ	2					
		※ 日本語Ⅳ	2					
		※ 日本事情Ⅱ	2					
	計	34	計	41	計	32	計	22
専門科目	◎ 心理学概論Ⅰ	2	◎ 心理学概論Ⅱ	2	◎ 基礎実験演習Ⅰ	2	◎ 基礎実験演習Ⅱ	2
	◎ 基礎演習Ⅰ	2	◎ 基礎演習Ⅱ	2	◎ 心理学研究法基礎	2	社会調査概論	2
	◎ 心理統計学Ⅰ	2	◎ 心理統計学Ⅱ	2	ビジネス心理学	2	言語心理学	2
					認知心理学	2	情報処理心理学	2
					発達心理学	2	生心理学	2
					◎ 教育心理学	2	◎ 精神保健学	2
					◎ 臨床心理学	2	◎ 精神医学	2
					◎ 深層心理学	2	◎ 社会心理学	2
					◎ 学習心理学	2	心理学と職業	2
					◎ 知覚心理学	2		
				映像・音楽の総合表現と人間	2			
	計	6	計	6	計	22	計	18
		40		47		54		40

区分	3 学年				4 学年				
	前期		後期		前期		後期		
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位	
教養科目	◎ 英語 3 フタタキ・ホルム・イングリッシュⅠ	1	◎ 英語演習 3 フタタキ・ホルム・イングリッシュⅡ	1					
	ビジネス英語入門	1	英語記事・論文読解	1					
	キャリアと自立	2	働くことの科学と実践Ⅱ	2					
	働くことの科学と実践Ⅰ	2	総合教養演習	2					
	現代社会理解	2							
	計	9	計	7	計	0	計	0	
専門科目	◎ 一般実験演習Ⅰ	2	◎ 一般実験演習Ⅱ	2	◎ 総合研究演習Ⅰ	4	◎ 総合研究演習Ⅱ	4	
	コミュニケーション技法演習Ⅰ	2	コミュニケーション技法演習Ⅱ	2					
	コミュニケーション技法	2	対人関係論	2					
	ビジネス心理原典講読	2	○ 心理学研究法応用	2					
	○ 臨床心理原典講読	2	消費者理解の心理学	2					
	○ 対人援助論	2	交通心理学	2					
	心理データ解析法	2	産業心理学	2					
	○ 社会臨床心理学	2	動機づけと情動	2					
	犯罪心理学	2	○ 家族臨床心理学	2					
	神経心理学	2	○ 学校臨床心理学	2					
	○ 発達臨床心理学	2	○ 非行臨床心理学	2					
	臨床心理査定・検査	2	○ 臨床心理査定・面接	2					
	企業組織における人間行動	2	比較心理学	2					
	○ 臨床心理実習Ⅰ	1	人格心理学	2					
			○ 臨床心理実習Ⅱ	1					
		計	27	計	29	計	4	計	4
			36		36		4		4

(注記1) 必選欄の※印は、留学生の履修科目を示す。

(注記2) 必選欄の*印は、聴覚に障害をもつ学生の履修科目を示す。

【臨床心理専攻】

※【再履修科目】

前期		
必選	授業科目	単位
◎	総合研究演習Ⅱ(再)	4

(追記3) 情報社会専門科目については、情報社会学科の配当表を参照せよ。

3. <心理学科> 卒業要件一覧表

【平成28年度(2016)以降】入学者適用

区分	必修	選択必修	選択	合計
教養科目	10単位	—	34 単位	44単位
専門科目	26単位	20単位 注1) 19単位 注2) 18単位	34単位 注1) 35単位 注2) 36単位	80単位
合計	36単位	20単位 注1) 19単位 注2) 18単位	68単位 注1) 69単位 注2) 70単位	124単位

注1) 実習科目を1科目履修した場合

注2) 実習科目を2科目履修した場合